

## 第5回新人助産師研修



平成30年12月22日（土）、第5回新人助産師研修・公開講座が開催されました。徳山中央病院 産婦人科部長 山縣芳明先生に「ハイリスク妊産褥婦の病態生理と管理」について講義をして頂きました。新人助産師、公開講座参加者合わせて29名の参加がありました。



妊娠高血圧症候群、胎盤異常、流産・早産、多胎妊娠、胎児発育不全、妊娠時の耐糖能異常について講義がありました。妊娠中毒症は昭和時代、PIHは平成時代、今はHDPと呼び名が変わり時代の変遷を感じました。また、塩酸リトドリンの長期投与は児の喘息発症率を増加させるという新しい情報がありました。今までの知識をふりか

えるだけでなく、新しいことも聞き学び続ける大切さを感じました。新人助産師アンケートに「ハイリスク妊産褥婦の入院や自分が関わる機会も多く、より身近で学習を深めたい内容であった」と満足感があり、今後は「正常からの逸脱の判断や、その際の検査、治療、搬送の判断に活かしていきたい」とありました。新人助産師も日々の疑問を、解決できた大変実りの多い研修となったようです。講師の山縣先生から今後も CLoCMiP 研修に協力して頂けるというお言葉を頂きました。

今後の新人助産師研修予定

1/20（日）

「産科ショック（出血時の対応）」

皆様のご参加、お待ちしております。



山口県看護協会  
助産師職能委員会